

(環境) 福岡中学校 1年

地域を知るための環境教育と心の醸成

～私たちにできることは～

4月～3月(50時間)

1 ねらい

1年生の総合的な学習での目標は「地域を知る」である。最初に、岡崎の3本柱である「環境教育」に焦点を当て、身近な学区の生態系の変化について追及を進めていく。理科との横断的な学習を取り入れ、現存する動植物の状況を知り、私たち人間の社会環境と動植物の置かれている自然環境を対比させる。その学びから、「持続発展可能な社会」を意識し、学びを深める。そして共生するために私たちができる具体的な方策を考え、自発的に実践・行動できる生徒の育成を目指す。そして、後半は3本柱である「岡崎の心の醸成」に焦点を切り替え、歴史的背景から岡崎の産業、工業、商業の実態把握・調査活動を進め、わが街岡崎を誇らしく感じられる生徒の育成を目指す。

2 実践の概要

(1) 実践計画

	学習課題	学習内容
5月	◎自然環境について知ろう ◎絶滅危惧種の現状について考え、まとめよう ◎絶滅危惧種を調査し、まとめよう ※理科の授業内の「植物の生活種類」と内容を横断的にリンクさせる(例:西洋タンポポ)	・学級対抗環境〇×クイズ大会 例)絶滅危惧種は100種いる? ・レッドリストのランクを順に並べる ・絶滅危惧種の生物を分ける ・インターネットや本を使って種類別にどのような絶滅危惧種があるかを調査する
6月	◎人間と動物の共存を考えよう ◎在来種をおびやかす外来種について考え、まとめよう① ※理科の授業内の「植物の生活種類」と内容を横断的にリンクさせる(例:西洋タンポポ)	・ホテルが生息する条件とは何か考える (山の学習の前に知っておくべきこと) ・私たちにできる保護活動を考える (理科で既習のたんぽぽを例に導入) ・外来種とは何かを調べる ・どのようにして外来種が日本に入ってきたのかを調べる ・外来種が増えるとどのような影響をおよぼすか考える
7月	◎絶滅危惧種を見学する計画を立てよう	・東山動植物園に行き、実際に絶滅危惧種を見るためのコース分けなどの計画を立てる
9月	◎東山動植物園の環境プログラムのコース分け(班分け)と事前質問を考え、まとめよう	・環境プログラム(動物コース・植物コース)を受けるにあたって、事前に質問や疑問をまとめる
10月	◎校外学習として東山動植物園の環境プログラムを受けよう	・東山動植物園で、環境プログラムを受け、実際に専門家から話を聞いたり、絶滅危惧種を見学したりして、自分の考え方に加えたり、修正したりする
11月	◎東山動植物園を見学して、私たちに何ができるかをまとめよう	・ふり返しシートにまとめる

1 2 月	◎在来種をおびやかす外来種について考え、まとめよう②	・TVで放送された名古屋市外来種駆除の実情をビデオで鑑賞し、今後の課題を検討する
1月	◎岡崎ワンデーフリーを計画しよう（予定）	・自分が住む岡崎市をもっと知るために、岡崎市内の観光名所や商店街などをピックアップし、訪問するための計画を立てる
2月	◎岡崎ワンデーフリーを計画しよう（予定）	（1月の続き）
3月	◎岡崎ワンデーフリーを実行しよう（予定）	・実際に活動し、ふりかえる

（2）学習の様子

①学級対抗環境〇×クイズ大会



学級対抗環境〇×クイズ大会。環境に関するクイズに答え、優秀な成績をおさめたクラスには表彰状を授与した。楽しみながら環境学習をすることができた。

②校外学習（東山動植物園）



東山動植物園で「動物コース」と「植物コース」に分かれ、絶滅危惧種についての環境プログラムを受講した。その後、実際に園内の絶滅危惧種を見学した。後日、学校で振り返りシートを記入し、環境プログラムの講師の先生に宛ててお礼状を書いた。

3 実践を振り返って

「未来へつなぐ『感性と創造』の育成」が、本校の総合的な学習における教育目標とめざす生徒像である。その中で1年生は、「生き方を考える」（地域を知る）という年間計画で実践している。まずは地域で観察できる自然環境について学習した。岡崎市環境学習プログラムのワークシートを参考にし、オリジナルのワークシートを作成し、記入しながらそれぞれの考えをまとめた。6月の山の学習が台風の影響で約3時間のみの滞在となってしまう、満足と言える環境学習ができなかったが、10月に校外学習で東山動植物園に行き、環境プログラムを受講し、実際に絶滅危惧種を見ることで、以前よりも環境問題を身近な問題として考えることができた。環境教育だけでなく、岡崎市民であるということに誇りを持つよう「岡崎ワンデーフリー」を通して、3学期は「岡崎の心の醸成」も追及していきたい。反省点として、2学期には学級や班ごとの報告会、発表会、討論会などを時間の都合でなかなかおこなうことができなかった。そこで、今回の反省を生かし、報告会、発表会、討論会などができるよう計画を立てて、実践していきたい。